

○第3回研修会 (オンライン開催)

全体研修1 進路・キャリア教育に関する研修

今回の研修は、「日本語指導を要する児童生徒の進路状況や高校における日本語指導の制度化等の概要を知り、進路選択やキャリア教育に関する現状や情報を共有する」と「進路指導やキャリア形成に向けた教育的働きかけの在り方について考え、今後の児童生徒への進路・キャリア教育に活かす」ことをねらいとして企画・実施されました。

今回の研修の内容は以下の通りです。

(1) 講話「進路状況と高校における日本語指導について」

【講師】吉田憲太郎先生

- ・受検(受験) ・特別学力検査 ・特色化選抜 ・パラマ入試
- ・進学状況 ・特別の教育課程

講話では、まず高校入試における「受検」と「受験」の違いや「専願」と「併願」の違い、進路指導スケジュールについてのお話がありました。次に「特別学力検査」の対象者や受験科目について説明をして頂きました。「特別学力検査」は、帰国もしくは入国後小学校4年生以上の学年に編入学した生徒等が「国語・数学・外国語(英語)・作文・面接」の科目で受検できる制度です。また、「特色化選抜」という制度もあります。これは、生徒の個性を積極的に評価する選抜方法で、作文や実技、面接などが受験科目となります。「パラマ入試」は、学校法人都築学園の福岡第一高等学校と第一薬科大学付属高等学校が行っている独自の入学試験のことです。

続いて、日本語指導を受けている生徒の高校への進学状況についてのお話がありました。お話のなかで、特に強調されていたのが、学力が伸びず、希望通りの進学ができていない生徒がいると考えられる状況や非漢字圏出身の生徒の学力が漢字圏出身の生徒の学力に比べて比較的低い傾向にあるという現状です。また、文部科学省が来年度から高校での日本語指導を卒業単位として認める方針を決めたことについてのお話がありました。最後に高校進学時に必要な費用について、早い段階で保護者にも伝えていくことの大切さについてお話ししてくださいました。

(2) グループワーク (テーマ)～進路・キャリア教育に関する現状や支援～

グループでは、高校入試、奨学金制度、進路指導の実際、私立高校、高校で始まる日本語指導についてグループで交流し、報告を行いました。

感想

- ・進路の実際を知ることができ、とても参考になりました。学力面での厳しさを抱えた児童が多く、中学校入学・高校進学を見据えた指導が必要だと強く感じました。
- ・漢字圏と非漢字圏の生徒で進路状況について分析されているのがとても参考になりました。
- ・今後、保護者に高校受験等について話す際にも役に立つ内容でした。